









人世の皮肉? 期せずして同じ日に、左の如き二つの歌稿が、文藝部に參りました

短歌「久遠の初戀」の  
南樹氏を巡りて



於て詠むマテルニーダー内に

聖市マテルニーダー内に

久遠の初戀見るにつけ齒

のない「おやち」怨めしき哉

昨日今日數へ始めし、二、三

音楽は數多並べど

母親の苦腦を知らず生れ來し

吾子は九々肥え太り居たり

生れ出でし吾子は不幸ぞ一生

に父を知らずに世を渡るなり

抱く父なき不幸の吾子よ!

男の子故百ミルの祝ひある等

悦ぶ人や我は悲しき

歸へるとて我家にあらず不幸

者赤子抱きて何處へ行かん

何故か朝から悲しへ二十八日

泣きはらず給仕人は笑ふ

捨てられて生活を案する今

身は赤兒抱えて如何に過ごさん

久遠の失戀氏へ

久遠の失戀